

宮崎の 土地改良



ホームページアドレス
<http://www.midorinet-miyazaki.com/>



Vol. 643

目次

- | | |
|---|------|
| 1. 第67回通常総会並びに第67回土地改良功労者表彰式を開催 | (2) |
| 2. 全国水土里ネットが表彰式を開催 | (4) |
| 3. 令和6年度 日本のひなた多面的機能推進大会を開催 | (5) |
| 4. 令和6年度 優良地区宮崎県農地集団化推進協議会会長表彰式及び宮崎県農地集団化事業に関する研修会を開催 | (6) |
| 5. 退会者並びに入会職員の紹介 | (7) |
| 6. 令和6年度水土里ネット宮崎 資格取得者の紹介 | (8) |
| 7. 令和7年度水土里ネット宮崎 職員配置図 | (9) |
| 8. 第47回全国土地改良大会(佐賀大会)のご案内 | (10) |



宮崎県土地改良事業団体連合会第 67 回通常総会の様子

第67回通常総会並びに第67回土地改良功労者表彰式を開催

本会は、去る3月25日、宮崎県土地改良会館4階研修室にて、会員及び関係者合わせて約230名出席のもと、第67回通常総会並びに第67回土地改良功労者表彰式を開催した。

はじめに、後藤田悦男 副会長が開会宣言し、宮原義久会長が「国の農業農村整備事業関連予算は、昨年度より260億円増額の6,500億円と、現場のニーズに応える予算額が計上されました。大変厳しい財政事情の中、昨年度を上回る予算計上が出来たのは、全国の関係者による要請活動、さらには、本県選出国会議員の先生方をはじめ、土地改良職域代表の進藤金日子参議院議員、そして、2期目に向けて頑張っておられる宮崎雅夫参議院議員によります、国政への発信力の成果だと感じております。我々としても、現在の土地改良代表二人体制の継続が重要だと考えておりますので、引き続き、皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます」と開会挨拶を行った。

続いて、土地改良功労者表彰式が執り行われ、県知事表彰として個人2名、宮崎県土地改良事業団体連合会会長表彰として1団体、個人20名が表彰された。(各受賞者は次頁のとおり)

その後、緒方和之 九州農政局長(代読:松本勉 農村振興部地方参事官)、河野俊嗣 宮崎県知事、濱砂守 宮崎県議会議長による来賓祝辞に続き、来賓紹介、祝電披露の後、白尾道弘 水土里ネット綾川総合理事長を議長に選任し議事に移った。

全議案が承認された後、前田喜輝 理事(水土里ネット西諸理事長)が要望事項の決議文を力強く朗読し、満場一致で採択された。

最後に、川野恒道 副会長(水土里ネット宮崎市生目理事長)の閉会宣言により通常総会は盛会裡に終了した。



宮原会長



松本地方参事官



河野知事



濱砂県議会議長



白尾議長



前田理事

【決議事項】

- 一、食料・農業・農村基本法に即した農業の構造転換を集中的に推し進めるため、農業農村整備事業に係る必要な予算を安定的に確保すること。
- 一、食料安全保障の確保及び農業の持続的な発展に寄与するため、農地集積・集約化、高収益営農への転換、スマート農業の導入を促す基盤整備を推進すること。
- 一、農村地域の国土強靭化を図るため、国土強靭化実施中期計画を早期策定し、農業水利施設の更新・長寿命化や豪雨・地震対策を着実に推進すること。
- 一、高い公共性・公益性を有し、食料の安全保障に貢献する土地改良区の運営基盤が強化されるよう、農業水利施設等を適切に保全管理する連携体制の構築や燃料・電気料金価格高騰対策などの支援を引き続き推進すること。
- 一、農業農村が有する多面的機能を維持・発揮するため、多面的機能支払活動組織の広域化や土地改良区との連携強化を推進するとともに必要な予算を確保すること。

～土地改良功労者表彰、土地改良事業功績者表彰受賞者～

1. 宮崎県知事表彰(個人)

市町村名	所属団体名	職 名	氏 名
木城町	岩戸原土地改良区	理事長	重永斗志夫
えびの市	えびの市土地改良区	職員	田野忠

2. 宮崎県土地改良事業団体連合会会長表彰(団体、個人)

市町村名	団体名
小林市	西諸土地改良区

市町村名	所属団体名	職 名	氏 名
宮崎市	大淀川左岸土地改良区	理事	市瀬憲一
宮崎市	宮崎市生目土地改良区	副理事長	横山健
宮崎市	江原土地改良区	総括監事	外山実郎
宮崎市	田野町北地区土地改良区	理事長	甲斐新一郎
日南市	飫肥酒谷土地改良区	理事	中村勇
日南市	飫肥酒谷土地改良区	理事	東昭良
日南市	飫肥酒谷土地改良区	監事	山下喜教
都城市	師々目土地改良区	理事	安楽正見
都城市	上長飯土地改良区	理事	吉川隆司
都城市	上下水流土地改良区	代表監事	上野信一
三股町	蓼池土地改良区	会計担当理事	山元厚生
小林市	野尻原土地改良区	理事長	赤崎正一
小林市	小林市土地改良区	前理事	谷口和巳
小林市	小林市土地改良区	総括監事	松ヶ野博
新富町	新富土地改良区	前総括監事	水間健
都農町	都南土地改良区	前理事	猪股三郎
延岡市	延岡市土地改良区	総務係職員	久世ひとみ
日之影町	日之影土地改良区	事務局長	津嶋秀利
高千穂町	天岩戸土地改良区	岩戸用水組合役員	福原良治
高千穂町	押方土地改良区	監事	甲斐正利



河野知事と県知事表彰受賞者



宮原会長と会長表彰受賞者

全国水土里ネットが表彰式を開催

全国水土里ネット(二階俊博会長)は、去る3月26日、東京都千代田区のシェーンバッハ・センターにて、第66回全国土地改良功労者等表彰並びに農業農村整備優良地区コンクール表彰式を開催した。

式典では、はじめに、二階会長が主催者を代表して、「本日、受賞される皆様の長年にわたる土地改良事業や土地改良区運営への献身的なご努力に敬意を表します。『農は国の礎』であり、農を支える水土里ネットの役割はますます重要となってまいります。宮崎雅夫さん、進藤金日子さんのお二人を先頭にして、土地改良関係者が力をあわせ一丸となって闘っていきましょう」と式辞を述べられた。続いて来賓挨拶に移り、笹川博義 農林水産副大臣並びに宮崎雅夫 全国水土里ネット会長会議顧問が祝辞を述べられた。

引き続き表彰に移り、農林水産大臣表彰5地区、農林水産省農村振興局長表彰2地区、全土連会長表彰50団体、個人表彰113名、また、農業農村整備優良地区コンクールにて農業振興部門11地区(農林水産大臣賞: 2地区、農林水産省農村振興局長賞4地区、全国水土里ネット会長賞5地区)、中山間地域等振興部門9地区(農林水産大臣賞: 2地区、農林水産省農村振興局長賞4地区、全国水土里ネット会長賞3地区)がそれぞれ表彰された。



表彰式の様子



二階会長



笹川副大臣



宮崎顧問

<本県からの受賞者>

全土連会長表彰(団体):五十鈴土地改良区(門川町)

同 (個人):大久保 利政(宮崎市:清武町土地改良区 理事長)

藤下 利恵(日南市:日南市東郷土地改良区 職員)



表彰受賞者左から藤下職員、大久保理事長、五十鈴土地改良区(松本副理事長)

令和6年度 日本のひなた多面的機能推進大会を開催

宮崎県多面的機能推進協議会(浜田真郎会長:水土里ネット宮崎常務理事)は、去る1月29日、宮崎市民文化ホールにて、活動組織及び関係者約650名出席のもと推進大会を開催した。

また、宮崎県立都城農業高等学校農業土木科より約80名の生徒の皆様にもご参加いただいた。



推進大会の様子

はじめに、郡賀淑副会長(宮崎市農村整備課長)が開会宣言を行い、続いて主催者として浜田会長が、「食料安全保障のためには、活動組織の皆様が行っている多面的機能支払の共同活動による、農地や農業水利施設の維持・管理が非常に重要な役割を担ってまいります。多くの活動組織の皆様が、今後の活動維持に向けて試行錯誤されているかと思いますが、本推進大会での基調講演や活動事例発表を参考にしていただき、多面的機能支払の共同活動の活性化に繋がることを期待しております」と挨拶した。次に、来賓として緒方和之 九州農政局長、河野俊嗣 宮崎県知事、濱砂守 宮崎県議会議長が挨拶された。

引き続き基調講演に移り、宮崎雅夫 全国水土里ネット多面的機能支払促進協議会顧問が「食料・農業・農村をめぐる情勢について」、村瀬勝洋 農林水産省農村振興局整備部農地資源課多面的機能支払推進室長が「多面的機能支払の第3期対策について」と題して講演された。また、県外優良事例発表として椿一雅 一般社団法人農村振興センター みつけ業務アドバイザーが「多面的機能支払 農村の広域的な連携」について発表を行った。

さらに、県内事例発表として田ノ上環境保全会(宮崎市佐土原町)、高鍋町広域協定運営委員会(高鍋町)、水土里ネット高千穂郷広域協定(高千穂町)の3組織が、地域の特性について発表を行い、浜田会長から各組織へ感謝状が贈呈された。

大会宣言では、宮崎県立都城農業高等学校農業土木科2年の中村翔哉さんと益田明依さんの二人が「地域の農業・農村の守り手として、またその恩恵をうける一県民として、多面的機能支払交付金の活動を通じ、宮崎の農業・農村を未来に残していく」と高らかに宣言した。

最後に、戸高久吉副会長(宮崎県農政水産部農村振興局長)による閉会宣言が行われ、参加者全員による力強い拍手にて大会は盛会裡に閉会した。



郡副会長



浜田会長



緒方局長



河野知事



濱砂県議会議長



宮崎顧問



村瀬室長



椿業務アドバイザー



県内事例発表3組織の感謝状贈呈の様子



中村さん(左)と益田さん(右)



戸高副会長

令和6年度優良地区宮崎県農地集団化推進協議会会長表彰式及び 宮崎県農地集団化事業に関する研修会を開催

宮崎県農地集団化推進協議会(高妻経信会長:高原町長)は、去る1月30日、宮崎県土地改良会館4階研修室にて、会員及び関係者約110名出席のもと、令和6年度優良地区宮崎県農地集団化推進協議会会長表彰式及び宮崎県農地集団化事業に関する研修会を開催した。

はじめに、高妻会長が開会挨拶し、続いて宮崎県農地集団化事業優良表彰地区として、村内地区(田野町村内地区土地改良区:石黒文男 理事長)が表彰された後、研修会に移った。優良地区的事例発表では、「基盤整備を実施し農地の集団化や農道の整備に伴う大型機械の導入により農作業の効率が上がり用水もパイプラインとなり水不足が解消され、管理がとても楽になった。事業推進の段階で受益者に事業の必要性を理解していただくことに5年かかり諦めかけた時期もあったが、地元の団結と関係機関のお力添えで事業を無事完了できたことに感謝している」と発表された。

また、農地集団化に関して事業推進時の課題解決につながる具体的な手法について研修を行なった。

●研修内容

○農地集団化優良表彰地区の事例発表（村内地区）

代理：水土里ネット宮崎事業部換地課 副主幹 外薗 浩二

○研修①「所有者不明農地等の課題解消に向けた制度の活用について」

講師：水土里ネット宮崎事業部換地課 課長 稲田 健二

○研修②「基盤整備事業推進の課題について」

講師：水土里ネット宮崎事業部 技術専門職 大田原 守正

水土里ネット宮崎事業部換地課 課長 稲田 健二



高妻会長



表彰式の様子



優良表彰地区関係者と協議会委員

村内地区の概要

事業工期：平成23年度～令和5年度

受益面積：72.4ha 集団化率：85%
(換地面積：31.5ha)

事業の内容

(1) 整地工 25.2ha (2) 道路工 4.9km
(3) 用水路工 18.7km (4) 排水路工 6.1km



整備前



整備後

派遣期間満了・退会者の紹介



えの き ぞの ただし
榎木園 忠

(令和6年度宮崎県から派遣: 1年勤務)

●役職名／企画指導監



か じ き ひろし
加治木 浩史

(令和6年度宮崎県から派遣: 1年勤務)

●役職名／技術指導監

会員並びに関係機関の皆様には在任中、大変お世話になり有り難うございました。

派遣者の紹介



うけぜき はちよし
請関 八芳

●役職名／企画指導監

(前 宮崎県農村振興局
扱い手農地対策課課長補佐)



い の うえ ひでゆき
井之上 英行

●役職名／技術指導監

(前 宮崎県児湯農林振興局農村計画課長)

今年度よりお世話になります。よろしくお願いします。

新規採用職員の紹介



と だ えいと
戸田 瑛翔

Profile

- 役職名／技師
- 所 属／総務部会員支援課
- 出身校／宮崎産業経営大学
経営学部



こめよし ゆうま
米吉 佑眞

Profile

- 役職名／技師
- 所 属／事業部設計課
- 出身校／宮崎県立都城農業高等学校
農業土木科

令和7年度より新たに入会しました。
よろしくお願いします。

令和6年度水土里ネット宮崎 資格取得者の紹介

令和6年度に以下の職員が新たに資格を取得しました。
本会では、技術力向上のため、積極的な資格取得に取り組んで参ります。

測量士補

二級土木施工管理技士

技術士補



村岡 慎也
(事業部設計課)



本部 大樹
(事業部換地課)



山下 颯士
(事業部換地課)



駐松 隆一
(事業部設計課)



宮崎 公暢
(総務部南部事務所
農村整備課)

農業集落排水計画設計士

浄化槽管理士

農業用ため池保全管理技士

2級ポンプ施設管理技術者

農業農村地理情報システム技士



石田 光一郎
(総務部集落排水対策室)



滝谷 亮
(総務部集落排水対策室)



長友 優和
(総務部施設管理課)



高村 宗汰
(総務部施設管理課)



古澤 絵奈
(事業部技術情報課)

※ 所属部署は令和7年3月31日現在にて表示

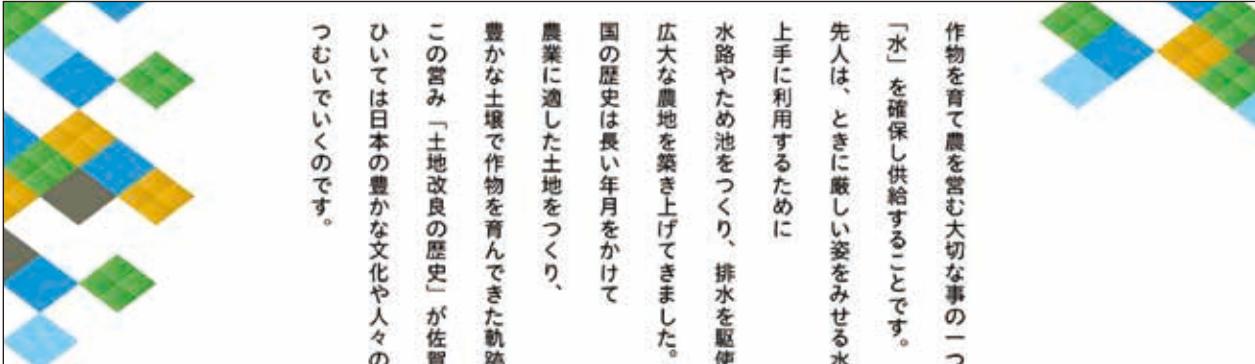
水土里ネット宮崎取得資格一覧

令和7年4月1日現在

資格名	人員	資格名	人員	資格名	人員	
農業土木	技術士(総合技術監理－農業－農業土木)	1名	農業農村地理情報システム技士	4名	環境計量士	1名
	技術士(農業－農業土木)	1名	第1種電気主任技術者	1名	農業集落排水計画設計士	6名
	技術士補(要件のみ)	18名	第3種電気主任技術者	1名	浄化槽管理士	11名
	農業土木技術管理士	26名	第一種電気工事士	2名	浄化槽技術管理者	8名
	農業用ため池保全管理技士	3名	第二種電気工事士	2名	浄化槽設備士	7名
	畠地かんがい技士	21名	ダム管理主任技術者	1名	浄化槽検査員	6名
			高所作業車運転技能講習修了者	2名	第2種酸素欠乏危険作業主任者	8名
			電気取扱(低圧)業務特別教育修了者	5名	防災士	3名
施工管理	1級土木施工管理技士	22名	電気取扱者に対する安全衛生特別教育(高圧・特別高圧電気)修了者	1名	情報処理技術者 (初級システムアドミニストレータ)	1名
	2級土木施工管理技士	24名	2級ポンプ施設管理技術者	3名	甲種防火管理者	1名
	1級管工事施工管理技士	4名	一級機械保全技能士	1名	会計指導員	9名
	2級管工事施工管理技士	1名	第二級デジタル通信	1名	無人航空機操縦士2級	6名
	1級造園施工管理技士	4名	測量士	14名	第2種衛生管理者	1名
	1級建築施工管理技士	1名	測量士補	35名	第一級陸上特殊無線技士	1名
	給水装置工事主任技術者	1名	土地改良換地士	12名	第二級陸上特殊無線技士	1名
			土地改良補償業務管理者	5名	計	286名

第47回全国土地改良大会(佐賀大会)のご案内

全国土地改良大会は、全国の土地改良事業関係者が一堂に会し、農地・農業用水等の地域資源を健全な状態で次世代に継承することを目的に開催されます。令和7年度は九州管内である佐賀県で開催されることから多くの会員の皆様のご参加をお願い致します。※お問合せ先：総務部総務企画課 (TEL : 0985-24-3305)



作物を育て農を営む大切な事の一つが
「水」を確保し供給することです。

先人は、ときに厳しい姿をみせる水を
上手に利用するためには

水路やため池をつくり、排水を駆使することで、
広大な農地を築き上げてきました。

国は長い年月をかけて
農業に適した土地をつくり、

豊かな土壤で作物を育んできた軌跡ともいえます。

ひいては日本の豊かな文化や人々の絆を
つむいでいくのです。

SAGA

水を利して土を活かす さがで語ろう郷里の未来

第47回
全国土地改良大会
佐賀大会

2025.10.15 水

会場 | SAGAアリーナ



主催 | 全国土地改良事業団体連合会 佐賀県土地改良事業団体連合会
後援 | 農林水産省 佐賀県 佐賀市

